

平成31年度

“村政運営”の基本方針

山田村長が今年度、どのような考えで、どのような事業に取り組んでいくのかを見ていきましょう。



第5次総合計画および地方創生総合戦略に基づく施策の推進

今年度も引き続き「東海村第5次総合計画」および「東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種施策を推進してまいります。時代や社会の変化が激しい今日においては、村民ニーズも多様化・複雑化しているため、喫緊の課題への対応も同時に求められています。また、今後予想される若年人口の急減に対応し、将来を見据えた対策も併せて考えていかなければなりません。

そこで、総合計画や総合戦略で掲げた施策にこれらの視点を加え策定した、平成31年度「実施計画」に基づき、さらなる住民福祉の向上を目指して、着実に事業を進めたいと考えています。

「持続可能なまちづくり」の実現に向けて

昨年1年間の出生者数が300人を下回るなど、本村も人口減少社会に突入してきたと認識される中、村が将来にわたって「持続可能なまちづくり」を実現していくためには、次世代を担う若い世代の方々の力が欠かせません。自治体間競争が激しくなる中で、村の魅力をアピールしながら、子育て世代の皆さんに「この村に住みたい、住み続けたい」と思ってもらえるような施策の充実に努めていきたいと考えています。

新たな「総合計画」の策定

社会経済情勢の変化や急激な人口減少問題等を考慮して、現行の計画期間を1年短縮し、2020年度をスタートとする新たな「総合計画」の策定に着手します。併せて「総合戦略」も改訂することで、人口減少に立ち向かう自治体としての方向性を示し、真に「村民が」主体となった「まちづくり」を実現できるような計画に仕上げたいと考えています。また、総合計画の策定に合わせて、テクノロジーの進展を見据えた「業務改革」や、生産性の飛躍的な向上を目指した「職場改革」といった視点を踏まえた行財政改革にも取り組みます。

“地域づくり”と“まちづくり”

「住民力」を生かす新たな「地域コミュニティ」の再構築に向け、これまで村内2つのモデル地区で意見交換を重ねてきました。今後は、地域おこし協力隊制度を活用して新たな人材を確保し、ともに活動を展開していくなど、再び地域に自信と活力がよみがえるよう、持続可能な“地域づくり”活動の在り方を示していきます。

一方で、これからの“まちづくり”は、ハード・ソフト両面において、合理的な判断のもと、真に必要なものを選択していくことが求められると同時に、多様な住民ニーズに応える機動性も発揮していかなければなりません。そのためには、民間手法を積極的に導入した経営戦略が必要になってくるものと考え、今後とも私自身が、先進的な政策を導入していく姿勢を持ちながら、役場全体の組織力向上を図ります。

原子力政策

村が取り組んでいる広域避難計画については、実効性をどのように担保していくかという課題はありますが、引き続き、いろいろな状況を想定した広域避難訓練等を実施することにより、住民の理解を得ながら、丁寧に策定作業を進めていきます。

東海第二発電所の今後の方針等については、新安全協定に基づき、6市村長でさらに協議を進めていくこととしますが、極めて重要なテーマであることから、今後とも慎重に対応していきたいと考えています。

最重点施策 5つのキーワード

子育て

子育て世代が育児の喜びを感じることで
できるまちの実現

安心して子どもを産み、育てやすい環境の実現に向けた子育て支援

安心して妊娠・出産・子育てができる包括的な支援を行う「とうかい版ネウボラ」を一層推進するとともに、保育環境の充実や待機児童の解消等を進め、若い世代が子育ての喜びを実感しながら社会で活躍し続けられる体制づくりに取り組みます。

主な取り組み▼▽新たに開設する病児・病後児保育施設の円滑な運営 ▼保育士処遇改善策の充実化 ▼新たな保育の受け皿となる小規模保育施設の整備



教育

子どもたちの学びを高める教育活動の
充実と学習環境の確保



健やかで人間性豊かな子どもを育む教育環境の充実

次の時代を担う子どもたちの一人ひとりが輝くために、ハード・ソフト両面において充実した教育環境の実現を図ります。

主な取り組み▼▽小中学校・公立幼稚園への空調設備の設置 ▼NLT（外国語指導講師）配置の充実 ▼少人数学級制や学校給食アレルギーに関する対応の充実等、一人ひとりに合わせたきめ細やかな指導や多彩な体験活動を取り入れた教育活動の実施

国体

国体の成功と国体レガシーの継承に
向けた取り組みの推進

「いきいき茨城ゆめ国体2019」の開催とレガシーの継承

大会の開催を目前に控え、成功に向け万全を尽くすとともに、「ホッケーのまちTOKAI」として、国体開催後を見据えた取り組みを推進します。

主な取り組み▼▽ボランティアや関係機関・団体の協力とリハーサル大会の経験を生かした万全の体制による大会の運営 ▼「とうかい国体盛り上げ隊」を核とし、若い村民の力を結集した機運醸成・おもてなしの取り組みの強化 ▼競技団体等と連携した「ホッケーのまちTOKAI」の推進

産業振興

知の拠点としての強みを生かした
産業創生・技術開発へのチャレンジ

新たな産業創生を見据えた地域経済の活性化

新たな産業創出や地域産業の振興を目指し、地域経済の活性化に向けた施策を総合的かつ多面的に推進します。

主な取り組み▼▽イノベーション創出のための環境づくりを視野に入れた支援制度の創設 ▼国内外への販路拡大や経営知識の習得支援など、頑張る経営者への支援の推進 ▼農業者の農業力向上や農業生産法人の設立に向けた取り組みの推進や農産物のブランド化の推進など、安定生産に向けた支援の充実

交流館

2年後の開館に向けたハード・ソフト
両面からの計画的な取り組みの推進

「(仮称)歴史と未来の交流館」の建設と開館に向けた施策の展開

幅広い世代が交流し郷土愛を育み、にぎわいをつくる生涯学習の拠点施設を目指し、建設工事に着手するとともに、開館後の展開を見据えた各種施策に取り組みます。

主な取り組み▼▽建築・電気・機械・外構工事および展示製作等を計画的かつ一体的に推進 ▼交流館でのスムーズな活動展開を見据え、住民活動団体等と協力・連携した取り組みの実施 ▼各文教施設の共用駐車場の再整備計画を策定

